

校長先生の思い

言葉や文化の壁を超えて

まつした やすひさ
松下 泰久さん(高梁城南高校 校長)



フランスとの交流は初めてですが、農業大国であり、また日本文化への理解があるため、交流をより深めることができる国の一つだと思っています。

本校の生徒は、「言葉の壁を超えられるか」「文化の違う世界にぶつかっていくのか」という課題があるなかで、ものづくりなどの授業を通じた交流により、貴重な経験を積むことができたと感じています。

さまざまな体験をお互いにできるように、これからの取り組みについて、生徒と一緒に考えていきたいと思っています。

お互いの文化を理解しながら

ありまさ のりこ
蟻正 教子さん(高梁高校 校長)

平成30年5月に高梁市とアンペール高校が教育交流協定を締結し、高梁市を訪問していただき皆さんと交流できたことに喜びを感じています。

このような体験は、生徒にとってお互いの国の文化や価値観を理解・尊重し、国際感覚を養うためのきっかけになったのではないのでしょうか。

今回の交流で築きあげたアンペール高校との素晴らしいつながりを、今後も継続・発展させていくとともに、国際交流に興味を持つ生徒が増えることを期待しています。



国際交流に興味

なんば さくらの
難波 桜野さん (高梁高校3年 右)

なんば ゆかこ
難波 優伽子さん(高梁高校1年 左)



両親の勧めもあり、アンペール高校生のホームステイ受け入れを決めました。1週間という短い時間でしたが、楽しく過ごすことができました。

ブドウのビニールハウスと一緒に作ったり、柔道をしたりと、日本の生活を楽しんでもらえたと思っています。

今回の体験を通して、国際交流に興味を持つことができました。将来の夢である看護師の職に就いたときに、外国人患者の治療などに貢献できるよう、外国語の勉強をしていきたいと思っています。

フランスの文化を学びたい

おおもと たける
大本 武さん(高梁高校3年)

中学2年生のときに米オハイオ州トロイ市へ行きホームステイをした経験があり、今回の受け入れを楽しみにしていました。

フランス人との交流は初めてでしたが、倉敷市の美観地区訪問をとても喜んでいましたし、高校で英語の授業と一緒に受けたときは、楽しそうな表情でみんなと交流する姿を見ることができ、私も嬉しくなりました。

アンペール高校の皆さんは日本の文化をよく知っていました。このつながりを深めることができるように、今後は私たちがフランスの文化を学びたいと思います。



交流授業を通して

普段はできない経験ができた

よこやま あいり
横山 藍里さん(高梁城南高校3年)



アンペール高校の皆さんが私たちの高校を訪れ、授業と一緒に受けることで、普段の学校生活ではできない多くの経験をする事ができました。

はじめは自分の思いをうまく伝えることができず苦労しましたが、日本語や英語でゆっくり話したりジェスチャーを使ったりすることで、次第に意思疎通ができるようになり嬉しかったです。

今回の経験を生かし、今後外国の人と交流する機会があれば自分から積極的にコミュニケーションを取り、交流を深めていきたいと思っています。

日本の文化で心が通じる

よしもと えみり
好本 笑理さん(高梁高校3年)

アンペール高校の生徒との交流を通して、初めて外国を身近に感じる事ができました。

調理の授業では巻き寿司などを一緒に作りました。言葉が伝わらなくても、身振り手振りで会話ができ、とても楽しく作ることができました。また、校内にある和室「光風館」で茶道部としてお茶を点て、おもてなしをしました。とても楽しそうに日本の文化に触れる姿を見て、私まで嬉しくなり、お茶を通して心を通わせることができましたような気がします。

いつかまたお茶を点てながら、一緒に話をしたいです。



高梁知るぶふれ¹³



知るぶふれは「高梁を知る」と「シルブプレ」(フランス語で「よろしければ」)をかけた言葉です

機会が少ないと思いますが、フランス語を知らなくても日本語や英語、ジェスチャーを使って同世代の外国の高校生と交流ができていたようでした。



アンペール高校と高梁の高校生にとって、今回の交流が将来のために役に立つことでしょう。

リヨン市で5年間日本語を勉強し、平成30年8月から高梁市の国際交流員になった私は、リヨンのアンペール高校の皆さんが高梁市へ来ることをとても楽しみにしていました。

アンペール高校の生徒は高校3年生で、3年前から日本語と日本文化を勉強しています。8人の生徒のうち7人は初めての来日で、日本の景色や食事などに興味津々でした。今回の滞在中で、フランスの学校で学んだことを日本で体験したり、日本人と会話したりしたことは、生徒の皆さんにとって大変勉強になったと思います。

高梁高校や高梁城南高校の生徒の皆さんが外国人と話す

訪問団がフランスへ帰る日の朝、ホストファミリーとアンペール高校の生徒とのお別れの様子には心をゆさぶられました。国が離れていても言葉が違っても、同じ人間同士であれば仲良くなることはできるのです。

平成30年は日仏友好160周年の年でしたが、「ジャポニズム2018…響きあう魂」というタイトルのもと、日仏関係を更に深めることを目的に日本とフランスの関係機関が連携して、パリを中心にフランスの津々浦々に日本文化を紹介するイベントが開催されました。また、オリンピックが2020年に東京で行われ、2024年にはパリで行われますが、その際に日本とフランスが協力できる機会が多くなると思います。